

平成30年度 都城市文化賞

都城市文化賞は、都城市文化賞条例に基づいて本市の文化の向上発展に顕著な業績または功労のあった個人、団体に対し贈るもので、①学術部門・②芸術部門・③技術部門・④社会教育部門・⑤体育部門・⑥文化功労部門の6つの部門で選考。合併以降、今年が13回目。これまでに学術部門1人、芸術部門4人、社会教育部門1人、体育部門2人、文化功労部門8人の計16人が受賞しています。

なお、旧都城市においては、昭和44年の制定以降、学術部門5人、芸術部門13人、文化功労部門43人と5団体、体育部門8人と1団体、社会教育部門19人と1団体の計88人と7団体を選定しています。

【文化賞贈呈式】

日 時：平成30年11月27日（金）13時30分～

場 所：都城市役所4階 秘書広報課前会議室

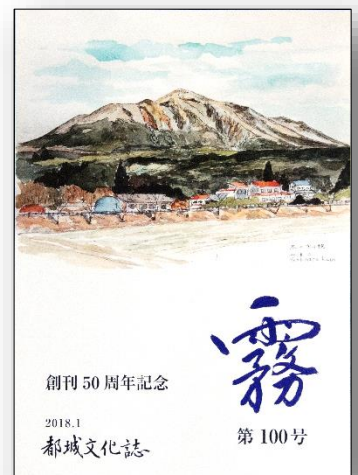
※受賞者への取材は、式終了後、記者クラブ室にて時間を設けます

【受賞者と功績の紹介】

●文化功労部門 霧之会（きりのかい）（上東町・橋本耕二会長）

昭和43年結成。都城文芸誌「霧」を年2回発行。平成30年1月には創立50周年、創刊100号を迎える。寄稿者総数約250名、掲載作品数6,800作品を数え、当市のみならず県の文芸文化の振興においても高い評価を得る。

また、都城の文化に関する歴史や文芸作品を読む機会を提供しながら、当市文化活動の歴史的記録保存にも貢献。さらに、文芸活動を通しての人材育成にも寄与し、本会より都城市文化賞受賞者を20名、みやざき文学賞受賞者を延べ26名輩出している。



●文化功労部門 小西 宏子（こにし ひろこ）氏（甲斐元町・79歳）

都城市教育委員として13年間当市教育行政に貢献。うち8年間は教育委員長を務める。また、都城市民憲章検討委員会委員をはじめ各種委員を歴任し、当市文化の向上に貢献。

長年にわたり、小説の執筆に意欲的に取り組み、みやざき文学賞を3度受賞（本年度も受賞）。当市のみならず県の文学振興においても寄与している。また、当市出身の詩人・富松良夫の顕彰活動にも積極的に取り組んでいる。

【問い合わせ】 コミュニティ文化課 電話：23-2132（直通）

大幅にスケールアップしてまちなかイルミネーションを開催！



当市の冬の風物詩として定着した「まちなかイルミネーション」を今年も開催します。今回は、4月にオープンした都城市中心市街地中核施設「Mallmall（まるまる）」にも、新たにイルミネーションを設置。78万球もの幻想的な光が、まちなかを鮮やかに彩ります。

さらなる来街者の誘引を図るとともに、中心市街地全体の回遊性を高めることで、まちなか全体の賑わいを創出していきます。

【イルミネーション点灯式】

日時：11月17日（土）17:50～

場所：まちなか広場（Mallmall 内）

内容：点灯式典、オープニングイベント、マルシェ

※各商店街などでもイベントを計画している団体あり（別途ちらし作成）

【2018 まちなかイルミネーションの事業概要】

点灯期間： 11月17日（土）～平成31年1月14日（月・祝）

共通点灯時間：17時～22時（11月17日（土）のみ18時点灯）

規模： 約78万球（※昨年度53万球）

設置箇所： Mallmall、都城市ウエルネス交流プラザ、各商店街など



【問い合わせ】 商工政策課 電話：23-2983（直通）

地元農畜産物を使った特色ある「ふるさと給食」を実施！

～「ふるさと ありがトンカツ！」～



当市では、全国の皆様から寄せられた「ふるさと納税」の寄附金を財源に、地元農畜産物を使った「ふるさと給食」提供事業を行います。

昨年度の牛肉を食材に使った給食に続き 2 回目の提供。11 月 6 日（火）～15 日（木）期間の学校給食において、都城産ブランド豚の美味しいロース肉を「ふるさとありがトンカツ！」として提供し、

子どもたちに「ふるさと都城の素晴らしさ」を伝えます。

「都城産ブランド豚」をメインに、地元産の野菜や牛乳を、小・中学生の学校給食で提供。学校給食を教材として活用しながら、地元農畜産物を使った食育を行います。

【事業概要】

都城産ブランド豚のロース肉を活用した「ふるさと給食」の提供。

◎献立名称：ふるさとありがトンカツ！

◎使用食材：都城産のブランド豚肉、都城産・県内産の野菜や米、牛乳

◎実施日時：11 月 6 日（火）～15 日（木）

◎提供対象：小学校 36 校、中学校 18 校の給食実施校

◎予算額：約 580 万円

【調理施設】

都城学校給食センター、山之口学校給食センター、高城学校給食センター、山田学校給食センター、高崎学校給食センター

【公開校と内容】

◎公開校 大王小学校（大王町 20-1 電話 23-2470）

◎講話 11 月 6 日（火）11 時 10 分～11 時 50 分

◎給食 12 時 10 分～12 時 40 分

◎公開内容 6 年生児童に対する講話と給食

・授業① 都城産ブランド豚の生産者による講話 11 時 15 分～（体育館）

・授業② 市職員による「都城市ふるさと納税」講話 11 時 25 分～（体育館）

・給食 池田市長を囲んでの「ふるさと給食」（12 時 10 分～）

◎注意事項 取材は、前日 9 時から 16 時までに学校への事前連絡が必要です

当日 10 時から中校舎 1 階図工室を控え室として開放します。事務室で受付を済ませてから入室ください

【問い合わせ】 学校給食課 電話：23-2617（直通）

都城市自衛隊等連携訓練（宮崎南部レスキュー訓練）・ 都城市総合防災訓練を開催！



南海トラフ地震を想定した県南 10 市町協議会による災害時広域連携計画の後方支援活動拠点及び内陸部と沿岸部の接続する活動の実動訓練を実施。県南 10 市町協議会や自衛隊等防災関係機関などとの連携強化を図ります。

また、地域住民、自主防災隊、防災関係機関合同の防災訓練を実施することで、災害時の相互協力体制と連携要領を強化するとともに、災害対処能力の向上と防災意識の向上を図ります。

【訓練の概要】

日時：11月18日（日）7：30～11：30

場所：山之口運動公園ほか

【訓練内容】

●宮崎南部レスキュー訓練

南海トラフ地震を想定し、当市が沿岸部の後方支援都市としての役割を担うため、自衛隊などの防災関係機関との連携を図る実動訓練を実施。沿岸3市（宮崎市、日南市、串間市）への支援計画の検証を行う。

- ・ 後方支援活動本部運営訓練（各防災関係機関）
- ・ 避難者搬送・受入訓練（串間市からの避難者を自衛隊へりにて搬送）
- ・ ボランティアセンター運営訓練（社会福祉協議会・隊友会）
- ・ 情報伝達通信訓練（沿岸3市と物資輸送訓練間による通信訓練）など

●都城市総合防災訓練

山之口地区自治公民館連絡協議会と山之口中学校を主体とした、多くの住民に参加を呼び掛け、住民参加型訓練を行う。

- ・ 避難所運営訓練（避難者カードの記入、避難所備蓄品展示等）
- ・ 応急救護訓練（日用品を用いた応急手当、応急担架搬送）
- ・ 地震体験や炊き出しなどの防災体験研修 など

【訓練参加機関 22 団体】

- ・ 県南 10 市町協議会
- ・ 国土交通省宮崎河川国道事務所
- ・ 宮崎県都城警察署
- ・ 山之口中学校
- ・ 都城市消防局
- ・ 陸上自衛隊（第 8 師団、43 普通科連隊）
- ・ 宮崎県都城土木事務所
- ・ 山之口地区自治公民館連絡協議会
- ・ 都城市消防団
- ・ 都城市 など

【問い合わせ】危機管理課 電話：23-2129（直通）